

「eカレッジ研修」に参加させて頂いています 支援スタッフ 富永 大智

今年度、自閉症eサービスが主催しているeカレッジに参加させて頂いています。eカレッジとは、5月～10月の半年間を通して講義や実践を重ね、ワークショップ・1泊のキャンプを計画・実施する中で、余暇での支援をメインに学ぶ研修です。私自身、利用者様の休憩時間の使い方など余暇の過ごし方をどのように過ごして頂いたら、より良いものになるかと考えている中で、今回の研修に参加することができたため、1つでも多くの気づき、学びに繋がればよいと思います。

キャンプでは、実際にモデルの方への支援を行うため、今後は各グループに分かれ、話し合いを進め、事前準備を行っていきます。

普段の日中支援で行っている事や対応方法などを振り返ることができる良い機会にもなっています。キャンプでは1日を通して、モデルの方と一緒させていただくので、余暇以外の部分も「立案→実施→見直し」を行い、しっかりと準備をしています。また、他事業所の方とグループワークをしていく中で、他事業所で行っている活動やアイデアなどの意見交換ができる場でもあり、教えて頂いたものを第2みらいでもうまく活かせればと思います。

自主製品販売のご案内

陶芸



1つ1つ手作りで個性溢れる品です。食卓に潤いを！

あたら、ぞうきんでご自宅の新しい雑巾でお掃除を是非！



ぞうきん 雑巾 1枚 60円

レジンアクセサリー



研修実績

(H31.2.1～R1.6末まで)

研修月	研修名	受講職員
3月	公開講座「これからの公開講座「これからの強度行動障害支援」～実践編～	関田・田村
4月	オープニングセミナー「うちの子自閉症という障害を持って」	高橋
5月	・ピギナース講習 ・eカレッジ	清水 富永・清水
6月	・すみすみ研修「フレームワークを活用した自閉症&ADHDの支援」 ・ハートフォーラム「自閉症スペクトラムと強度行動障害」	高橋 高橋

寄付・寄贈のお礼

物品	寄贈者	日付
くるま 車いす2台	やまぐちまねんしんりょうしよ 山口記念診療所	3月
あかん 空き缶 ¥160,433	ちいき 地域・ご家族様等	12月～5月
はななえ 花苗 ゴーヤ苗	はななえ 花苗 プロジェクト様	5月



ホームページでバックナンバーをご覧いただけます。
<http://toyonaka-sinwakai.or.jp/daini.html>

第28号

MIRAINI



(編集・発行)
社会福祉法人 豊中親和会
生活介護事業所 第2みらい
(発行人)
岡本 啓

〒561-0846
大阪府豊中市利倉東2-1-15
TEL06-6867-0828
FAX06-6864-5634

新理事長就任の御挨拶

令和という新たな時代の幕開けとともに法人運営を担うこととなり、身をひき締めて、この重責にあたらせていただきたいと思います。

これまでに、介護老人保健施設や障害者歯科診療の事業運営に関わってきましたが、また新たな分野での取り組みとなりますので、早急に個々の業務や組織全体としての流れを見極めていきたいと思います。

近年においても、福祉分野を取り巻く環境は厳しく、障害者福祉の制度も様々に変化するなかにおいて、当面する課題の解決に当たっては、職員の皆さんと共に、誠実に着実に

対応していきたく考えています。何よりも、人と人とのつながりを大切に、利用者、地域、法人の三者がウィン・ウィンの関係を築いていけるように努めてまいりますので、皆さん方には、ご指導、ご協力をよろしくお願い致します。



豊中親和会 新理事長
河端 秀雄

理事長退任の御挨拶

この度、理事長を退任することとなりました。縁あって平成22年10月に通所授産施設「みらい」の施設長として法人にお世話になり、常務理事を経て理事長を2期務め、約8年9か月在職させていただきました。

就任当時は、法人が障害者自立支援法施行に伴う事業移行を終えた頃で、移行後の体制整備が急務であり、また、利用者本位のサービス体系の在り方や就労支援の強化などが大きな課題であった、そんな時代でありました。



豊中親和会 前理事長
吉田 耕治

自立支援法から7年後の総合支援法施行、社会福祉法人の制度改正といった目まぐるしいほどの流れの中で、私も微力ながら、障害者支援とはなんだろう、利用者本位の支援とはなんだろう、と自問自答しながら日々の業務に取り組んでまいりました。

振り返りますと、さほどの実績も残せませんでした。法人役員をはじめご家族ならびに職員のご理解とご協力のお陰を持ちまして実施することができました。支援センターに関わる事業整理、大型グループホームの開設、法人制度改正への対応などは、法人にとりましては節目の業務であり、今後の展開につながる業務であったと感謝しています。

法人の屋台骨を支えている支援員の皆様には、これからも創意と工夫を重ねて、利用者本位の支援に取り組んで頂き、信頼される支援員になれるよう切に望みます。

終わりに、これまでご支援いただきました皆様に厚くお礼を申し上げますと共に、今後とも豊中親和会へ変わらぬご支援をお寄せいただきますよう心よりお願い申し上げます。



有志勉強会報告と紹介 支援スタッフ 高橋 大地

始まりは「学べる機会作り」でした。有志で行っているのには二人で実施したこともあります(笑)。そこから目的も人も内容も広がり、現在では豊中市内の様々なサービス事業所はもちろん大阪市内や兵庫、京都、奈良、滋賀など他府県からも来ていただく活動になりました。多くの方々と一緒に楽しく学んでいます。

学んでいく中で「学んだ知識や方法、理論を現場でうまく活用できない」ということをよく聞くようになりました。確かに各事業所やサービスで本人を取り巻く環境やできることは異なります。それらを解消できるようにみんなの悩みやうまくいったことなど発表してもらい、具体的な事例を通して実践的に学べるようにしました。

今後も広く支援のネットワークを持ち、色々なアイデア共有を継続したいです。誰もが気軽に交流し、支援や人材育成などの悩みを相談できる場所になればいいなと思いました。ジュースを飲んで、おやつを食べながら(笑)。



令和1年度「味覚狩り」支援スタッフ 武内 政行

6月9日と16日に猪名川町にあるフルーツファーム「果楽土」にいちご狩りに行ってきました。9日は3階の利用者さんが午前中にいちご狩りをして午後からは第2みらいでグループごとに過ごしています。16日は2階の利用者さんが午後「果楽土」へ。雨が心配でしたが昼食場所の猪名川ふれあい公園に着く頃には晴れていい天気になりました。いちご狩りのハウスに着くと果楽土のスタッフからみんなに説明をしていただき、45分間の食べ放題スタート！まるでいちごが浮いているような「空中栽培システム」と、いちごの森のような「立体多段式栽培システム」のハウスの中を行ったり来たりしていちごを採り美味しく食べていました。一般のお客さんとは別のハウスでいちご狩りが出来たので、大きなハウス一棟を貸し切りで使えていちごも十分過ぎるほど実っていました。毎年来ているので利用者さんも慣れた手つきで大きないちごを選び、受け皿にいっぱい入れる人や少し取って何回も採りに行く人、他の利用者さんや職員にも採って来てくれる人などそれぞれの楽しみ方で過ごしました。グループによってはその後にお小遣いで買い物に行ったり第2みらいでゆっくりしたりするグループもあり、利用者さんにとって安心や楽しみの確保を優先に過ごすことができたと思っています。今回は両日とも参加させていただき、利用者さんの笑顔やいちご狩りを楽しみにしている様子などをたくさん見る事ができました。毎年決まった場所・時期で行くことで利用者さんも職員も見通しを持って慌てることなく過ごせる点は良い事だなと感じました。来年も天候が良く、美味しい苺が育っていますように！



◆新職員の挨拶◆

支援スタッフ 清水 健也

初めまして。4月に入職しました清水健也と申します。現在は3階のCグループで働かせていただいています。前職は、高齢者の入所の施設で働いていたのですが、障がいを持たれる方の支援に携わりたいと思い、こちらで働くことになりました。毎日が学ぶことばかりですが、一生懸命に頑張るので、今後ともよろしくお願ひします。

